

## 臨時評議員会議事録

1. 開催 日時 平成 30 年 3 月 29 日 (木) 午前 11 時～
2. 開催 場所 静岡 新聞放送会館 10 階会議室
3. 評議員の総数 7 名
4. 出席した評議員数 7 名  
内訳 北村 敏廣、河野 誠、杉田 豊、小和田 哲男、杉浦 靖彦、鍋倉 伸子、  
日詰 一幸  
出席した理事 1 名  
内訳 大村 治  
出席した監事 1 名  
内訳 芝田 佳明
5. 議事録作成者 業務執行理事 大村 治
6. 議長選任の経過

定刻、事務局より定款に議長選出の規定がない為、当会の議長として河野誠評議員を議長候補とする旨を議場に提案したところ出席者全員の賛同を得た為、河野誠を議長に選出。議長は、当評議員会は過半数の評議員の出席により、決議に必要な定款第 18 条第 1 項の定足数を満たしており本評議員会は適法に成立した旨を述べた。

続いて議長は定款第 19 条第 2 項の規定により議長と出席した評議員のうち 1 名が議事録署名人となる旨を述べ、北村敏廣評議員を議場に提案したところ出席者全員の賛同を得た為、北村敏廣を議事録署名人に選出。ただちに議案の審議に入った。

また、本日の評議員会には業務執行理事の大村治が同席した。

### 7. 議事の経過及び議案別議決の結果

#### 第 1 号議案 静岡放送株式会社の同社株寄附を基本財産とする件

議長は本件を上程し、議案の説明を業務執行理事大村治（以下、事務局という）に求めた。事務局は、静岡放送株式会社より 2 万 9 千 50 株（額面金額 1 株 5 百円、額面合計 1 千 4 百 52 万 5 千円）を、平成 29 年 7 月 1 日に当事業団の基本財産の拡充のため寄附すると同社より申し出があったことを報告した。

受託した場合、基本財産を 1 千 4 百 52 万 5 千円積み増すことになり、定款第 5 条 2 項より基本財産とするためには評議員会の決議が必要となることを伝えた。議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたが、特に発言者がなく、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決確定した。

#### 第 2 号議案 駿府博物館開館 50 周年記念所蔵名品図録の発行、及び、駿府博物館所蔵名品図録発行準備資金取扱規程承認の件

議長は本件を上程し、議案の説明を事務局に求めた。事務局は昭和 46 年 5 月 20 日

に開館した駿府博物館が、平成 33 年 5 月に 50 周年を迎えるにあたり、平成 8 年に発行した図録以降、寄贈作品があったにもかかわらず更新していない旨を告げ、周年を機に新たな図録の発行を行いたい旨提案した。また、これを作成するのに参考見積をとったところ 500 万円（税込）であった。今年度から 3 年間にわたり、150 万円ずつ積み立て支出に充てたいと考えているが、公益法人の認定等に関する法律施行規則第 18 条第 1 項により、数年に亘る積み立てを行う特定費用準備資金を行うには、取扱規程を設け、目的、期間、金額を明確にしなければならない。資料の駿府博物館所蔵名品図録発行準備資金取扱規程はこれらを具現化するものであり、定款 15 条 3 項の規定により、貸借対照表及び正味財産増減計算書に影響をおよぼすことから評議員会の決議をいただきたいと説明した。議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたところ、有償で購入を希望する方々への対応も考慮すべきとの意見が寄せられた。その後、議案内容について審議したところ、全員異議なく決議し確定した。

#### 第 3 号議案 平成 30 年度事業計画、収支予算書の承認の件

議長は本件を上程し、議案の説明を事務局に求めた。事務局は平成 30 年度事業計画書を説明、また、事務局は収支予算書を一括朗読し詳細な説明を行った。議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたが、特に発言者がなく、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決確定した。

### 8. 報告事項

議長は本件の説明を事務局に求めた。事務局は以下の 2 項目につき報告した。

① 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告

②平成 29 年度「第 55 回 愛の都市訪問」助成団体等事業結果と平成 29 年度「第 7 回 ふるさと貢献賞」表彰者等事業結果。

議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたが、特に発言がなかったため、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

平成 30 年 3 月 29 日

公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団臨時評議員会

議長

河野 誠

印

議事録署名人

北村 敏廣

印